



みなみの風

坂下南小学校
学校だより

NO. 61

R6. 11. 5

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～

(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ！ 企画



600m走チャレンジランキング大会を行います

「校長室暗唱チャレンジ」、「仲間と自分アピール発表会」に次ぐ、ドリーム & チャレンジ！ 校長企画として、「600m走チャレンジランキング大会」(5・6年の部)を行います。この企画の意図は、次の通りです。

- ① 大会に向けて、学校や家庭で自主練習に取り組み、目標に向かってチャレンジする態度を育てること。
- ② 本校はマラソン記録会等、秋の運動関係の行事が無いことから、次年度の教育課程編成を見据えて、本大会を試行的に実施すること。
- ③ 体力テストの結果から見えた本校児童の課題である「走力、筋持久力、全身持久力」や「肥満傾向が強い」の改善にアプローチすること。



本大会は、町陸上記録会に向けてトレーニングを積んできた5・6年生を対象に、希望者を募って実施します。11月から12月にかけて、2校時後の休み時間に行います。

600m(校庭3周)の距離設定により、子ども達がチャレンジしやすく、短時間で実施できるなどのメリットがあります。

男女別トップ10のランキングを作り、参加者全員に記録証を授与します。

11月は坂下南小の「読書月間」です

～「家読」で深める家族のふれあい～

本校では、11月を「読書月間」として、読書活動の充実を図ります。この機会に、「家読」に取り組んでいただければ幸いです。「家読」(うちどく)とは、家族で本を読んで語り合ひましょう、という家庭での読書のすすめです。共働きのご家庭が多く、また、子ども達もスポ少や習い事などに熱心に取り組んでおり、家庭内でのふれあいの時間が思うようにとれないご家庭もあるのではないかと思います。お忙しい中ではありますが、読書月間を一つのきっかけにして、家族とのふれあいを深めていただければ幸いです。

「家読」にルールはありません。それぞれが読んだ本をすすめ合ったり家族が集うリビングのテーブルに本を置いておき、話題にしたりする。それだけでも「家読」です。例えば、今話題の「〇〇」について学んでみよう、親子で一緒に書店に行って、どんな本を読もうかと相談し合うのもよいでしょう。

「家読」は、家族の中でやり方を編み出せばよいのです。興味深い方法を紹介します。家族で『思い出ブック』を作るという提案です。1冊の本を家族で回し読みして、それぞれが感動した箇所に印をつけるという方法です。お父さんは二重線、お母さんは波線、息子はマーカーなど、印を決めて記入します。家族全員が読んだ後で、本を開けば、「えーっ、お父さんはこの文章に感動したんだ！」

「息子はここが良かったのか・・・。」と、それぞれの感じ方を知ったり、共感したりすることができます。

「家読」で家族と過ごす豊かな時間や家族のコミュニケーションを増やしてみませんか。

